

(平成18年) 2月12日 (日曜日)

梅田貨物駅の移転問題

住民らが反対集会

東住吉

JR大阪駅北側の梅田北ヤード再開発に伴い、梅田貨物駅の機能が旧国鉄吹田操車場跡地(吹田、摂津市)とJR百済貨物駅(東住吉区)に移転されようとしている問題で、百済貨物駅周辺の住民らが11日、東住吉区杭全4の市立育和

小学校講堂で「住民大会」を開いた。移転計画に反対する住民ら約130人が参加し、事業主体の鉄道建設・運輸施設整備支援機構や大阪市に対し、住民の意向を尊重するよう求める意見が相次いだ。

前日に調印された吹田

操車場跡地への移転着手合意協定書について、吹田市で住民投票実施を目標として活動しているグループの代表が現状報告。集会を主催した「百済貨物駅問題対策委員会」の藤原正信委員長らは、鉄道・運輸機構が「おおむね地元町会等の理解を得られた」としていることを「地元ボスによる住民不在の合意だ」と批判した。

【奥村隆】